

「電気を貯める」「電気を使う」の効率を高め、「役者」たちの活躍を支える

ハイブリッドカーにおけるバッテリーの役割は、減速時の回生や、発電用モーターによって生み出された電力を蓄え、走行の際に走行用モーターへと供給するというものです。

そこで求められる性能とは、体積あたりの出力に優れること、多くのエネルギーを蓄えられること、充・放電に関わるロスが小さいこと。

SPORT HYBRID i-MMDでは、それらの性能において、従来のニッケル水素バッテリーよりも大幅に優れるリチウムイオンバッテリーを採用したうえで、独自の技術により内部抵抗をさらに低減し、従来IMA*対比約3.5倍の出力密度、約1.7倍のエネルギー密度の高出力、大容量バッテリーを開発しました。これにより、EVドライブモードの頻度を高めて燃費性能を向上させるとともに、レスポンスのいい走りにも貢献しています。

*2013年インサイト

高出力
大容量

リチウムイオンバッテリーの採用により
ニッケル水素バッテリーよりも
大幅な高出力、大容量を達成

内部抵抗を低減することにより
電気を「貯める」ときのロスと
「使う」ときのロスを最小化

高い
充放電効率

